

No.	医療機関名	設置主体	現状													今後の方向性													2017年と2025年の病床数の差異																				
			第7期保健医療計画における役割 (※「医療機関一覧表」記載の有無)							医師数等 (2017年病床機能報告結果)						機能別病床数 ① (2017年病床機能報告結果)						各プラン、事業計画に記載された担うべき役割							機能別病床数 ② (アンケート結果)						②-①														
			がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	医師数	病床利用率	平均在床日数	救急車受入件数	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等	非稼働	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	へき地	周産期	小児	在宅	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止等	介護医療院への転換	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止等	介護医療院への転換
1	岐阜県立下呂温泉病院	公立	○	○	○	○	○	○	○	○	20	74.6%	18.9	1,232	206	0	104	102	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	206	0	104	102	0	0		0	0	0	0	0	0	0	
			<p>○へき地中核病院として、現状の医療体制を維持、継続する。 ※不採算・特殊部門(救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療等)に関わる医療の提供</p> <p>○急性期医療の提供と地域包括ケア病床及び回復期病床を有効に活用し、在宅復帰に向けた支援を行う。</p> <p>●2025年の機能別病床数(予定)は、現状維持。</p>																																														
2	下呂市立金山病院	公立	○	○	○	○	○	○	○	○	8.3	72.7%	27.3	238	99	0	50	49	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	99	0	42	57	0	0		0	0	▲8	8	0	0	0			
			<p>○周囲30km圏内に病院がないことから、急性期病院としての機能を維持しながら、地域の回復期機能を下支えする方針。</p> <p>●2025年に向け、急性期から回復期へ8床転換</p>																																														
3	国保飛騨市民病院	公立	○	○	○	○	○	○	○	○	8.7	72.7%	26.9	367	91	0	58	0	33	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	91	0	58	0	33	0		0	0	0	0	0	0	0			
			<p>○高原郷地域の現状を考慮し、現在の急性期、慢性期病床は維持する必要がある。</p> <p>●2025年の機能別病床数(予定)は、現状維持。</p>																																														
4	高山赤十字病院	公的医療機関等2025プラン対象	○	○	○	○	○	○	○	○	78.8	60.0%	10.0	2,901	476	16	353	107	0	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	420	70	200	150	0	0		▲56	54	▲153	43	0	0	0			
			<p>○飛騨圏域における医療の最後の砦となるべく、救急救急、災害拠点、がん拠点、周産期、小児救急等の政策医療体制を確保し、現状の高度急性期及び急性期機能を維持する。(※詳細は2025プラン参照)</p> <p>●2025年に向け、高度急性期54床の増、急性期153床の減、回復期43床の増、合計56床の減</p>																																														
5	久美愛厚生病院	公的医療機関等2025プラン対象	○	○	○	○	○	○	○	○	33.8	63.2%	14.2	1,562	300	0	228	49	23	0	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	300	0	184	49	67	0		0	0	▲44	0	44	0	0			
			<p>○地域の医療需要や効率的な経営、医療従事者の確保の状況などを考慮しつつ、「地域完結型」の医療を支える役割を担う。</p> <p>○政策医療であるがん医療・脳卒中及び心血管疾患への対応を中心とした急性期医療の他、救急・災害・へき地・感染などの事業における提供体制は維持していく。</p> <p>○急性期治療後の病状が安定した患者に対して、回復期機能を有効に活用し、在宅や介護施設への復帰支援にかかると一翼を担う。</p> <p>○健康寿命の延伸に向け、疾病の予防や早期発見のため人間ドックやがん検診、特定健康診査・特定保健指導の実施体制を行政機関等と連携し維持していく。(※詳細は2025プラン参照)</p> <p>●2025年に向け、急性期から慢性期へ44床転換。(医療療養病床を高山厚生病院から移管)</p>																																														
6	高山厚生病院	公的医療機関等2025プラン対象	○	○							2	97.5%	501.2	0	100	0	0	0	100	0	0	○										56	0	0	0	56	0		▲44	0	0	0	▲44	0	0				
			<p>○高山市内で唯一の療養病床であり、急性期から慢性期へ移行した高齢患者や医療処置を必要とする要介護者などの受け入れを担う。</p> <p>●2025年に向け、慢性期が44床減。(医療療養病床を久美愛厚生病院へ移管)</p>																																														
6病院計																1,272	16	793	307	156	0	0														1,172	70	588	358	156	0		▲100	54	▲205	51	0	0	0

備考欄の
○は、アンケートの「2025年に向けて担うべき役割」から転記(抜粋)
●は、2017年度の機能別病床数と2025年の機能別病床数(予定)を比較したコメントを記載